

茨城県知事 大井川 和彦 様

つくばエクスプレス東京駅延伸と
利便性向上に係る要望書

つくばみらい市

つくば市

守谷市

つくばエクスプレスは開業から15年目を迎え、令和元年度において、1日あたりの平均乗車人員は順調に伸びており、首都圏鉄道網においても非常に重要な路線となっております。

今後も鉄道利用者を継続的に確保するためには、つくばエクスプレスの東京駅延伸など更なる利便性と快適性の向上が必要になります。

つきましては、我々もより魅力あるまちづくりを推進し、沿線への定住促進と企業誘致に誠意努力してまいりますので、茨城県におかれましても、更なる鉄道利用者の利便性向上のため、以下の4点につきましてご尽力いただきたく要望いたします。

(1) つくばエクスプレスの東京駅延伸について

つくばエクスプレスの東京駅延伸については、新東京駅周辺の他路線との接続により、利用客の利便性とつくばエクスプレス沿線のポテンシャルの向上に大きな効果があると期待しております。

つくばエクスプレスの東京駅延伸実現化のためには、日本再興戦略に位置づけられた都心直結線や都心部・臨海地域地下鉄構想と一体整備することが効率的・効果的であることから、早期実現に向けた関係機関との合意形成等についてご尽力いただきたく要望いたします。

(2) 茨城県内の利便性向上について

これまで、つくばエクスプレスの快速列車につきましては、通勤快速列車が研究学園駅へ停車するなど、一部について利便性の向上が図られてきました。

今春予定しているダイヤ改正におきましては、列車の増発及び列車種別の見直しにより茨城県内各駅の停車本数が増えるなど、利便性の向上が図られると伺っております。

しかしながら、列車種別の見直しにより、平日の朝ラッシュ及び夜間時間帯に利用可能な快速及び通勤快速列車の本数が減少したことは、課題であると認識しているため、引き続き利便性の向上に向けて、ご支援をお願いいたします。

また、茨城県内における快速列車の停車駅は、ダイヤ改正後も2駅のみであり、沿線利用者からは、他駅への快速列車の停車を求める声が多くあがってきております。

特に、研究学園駅周辺は、つくば市庁舎が位置し、機能的に市政の中心であり、つくば市の副都心として発展を続けております。

みらい平駅周辺は、子育て世代を中心に人口が順調に増加しており、今後も大きく発展を続ける地域であります。

これら2駅は、守谷駅と合わせて今後の茨城県南地域でのまちづくりの核となる駅でありますので、研究学園駅及びみらい平駅の快速列車の停車に向けて、ご支援をお願いいたします。

(3) 通学定期乗車券の運賃引き下げについて

つくばエクスプレス沿線は、土地区画整理事業による良好な住宅地の供給を行うことで、茨城県から東京都方面への通勤通学者の増加が図られてきました。

また、県のご支援のもと、市町村の観光・産業の促進を目的とした「未来産業基盤強化プロジェクト」に取り組むことにより、東京都方面からの通勤通学者を含む利用者の増加についても、より一層進むと考えられ、運賃収入の増加も見込まれます。

こうしたなか、つくばエクスプレスの通学定期乗車券の運賃は、中学生・高校生・大学生とも同一料金で細分化されておらず、その割引率も競合路線であるJRと比較して低く、子育て世代にかかる乗車運賃負担が重荷になっております。

つくばエクスプレス沿線地域が引き続き発展するためにも、通学定期乗車券の運賃見直しについて、関係機関とのご協議をお願いいたします。

(4) 混雑緩和対策について

つくばエクスプレス沿線各区市の人口推計では、2020年代後半に人口ピークを迎える区市が多く、「車両編成の8両化」を1日も早く実現すべきであると考えております。

また、同ピークを迎える2020年代後半から「車両編成の8両化」が実現するまでの間の混雑緩和対策についても至急検討を

要する課題であると考えております。

つきましては、「車両編成の8両化」の早期実現及び同8両化が実現されるまでの間の混雑緩和対策について、関係機関とのご協議をお願いいたします。また、三市としましても最大限協力をいたします。

令和2年2月26日

つくばみらい市長 小 田 川 浩

つくば市長 五 十 嵐 立 青

守 谷 市 長 松 丸 修 久